

特集雑誌

# 自由国民

自由国民・第一六三号  
昭和卅七年六月十五日発行  
昭和卅五年十一月八日国鉄  
特別扱承認雑誌九二九号

## 特別号

6 15日

自由国民社  
発行

# 現代用語 の基礎知識

時代の鼓動を反射する新語年鑑

## '62年増補版

各界の権威

六十二氏

分担執筆

時局用語

横田喜三郎 中村哲 辻清明 鷓鴣信成 高木惣吉 高島善哉 長洲一二 山田秀雄 鈴木武雄 山口茂 近藤康男

文化用語

上坂西三 山城章 野田全治 大河内一男 宮川実

高桑純夫 岸本英夫 宮原誠一 戸川行男 林健太郎 西岡虎之助 辻村太郎 江上波夫 本多顕彰 今泉篤男 吉田秀和 山田肇

科学用語

辻二郎 茅誠司 藤岡由夫 朝比奈貞一 湯浅明

高橋吉定 杉靖三郎 宮木高明 萩原雄祐 竹内端夫 和達清夫 大宅壮一 城戸又一 森崎実 春日由三 津村秀夫

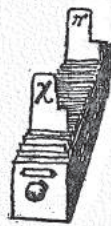
織田幹雄 神田順治 服部良一 吉川義雄 清家清 氏家寿子 平井信義 黒田初子 マダムマサコ 山野愛子 渡辺義雄 木村義雄 高川格 桑田忠親 福田蘭童 野村正七 吉田健一 池田雄蔵







# 外来語早わかり辞典



吉田健一

〔英文学者〕

年々ふえていく外来語をここに集めたが、英仏独にわたって、大体これだけ知ってれば、新聞雑誌に出てくるカタカナや、また日常の会話では面喰わずにすむと思う。文筆の仕事に携わるものとしては、外来語がもう少し整理されて、日本語になることがほほ確実と見られるものだけが用いられる、という原則が認められてほしい。これだけ網羅するに当たっては編集部の努力に負うところが大きい。これ以外の政治・経済・文化流行語などの外来語は、この「現代用語」のそれぞれの専門項目に詳しく解説されているから、これらをおぼせれば、この本はほぼ完全に外来語事典の役割を果たしていると思う。

(羅)ラテン語、仏)フランス語、独)ドイツ語、希)ギリシャ語、露)ロシア語、西)スペイン語、米)アメリカ英語、伊)イタリア語、ポ)ポルトガル語

## よく見る略語

- AAF**(Army Air Forces) アメリカ陸軍航空隊。
- AC**(Atlantic Charter) 大西洋憲章。
- AD**(Anno Domini) キリスト紀元。西暦。
- AF**(Air France) フランス航空会社。
- AI**(Air India International) インド航空会社。
- am**(ante meridiem) 午前。
- APA**(Army Procurement Agency of Japan) 在日米軍調達総局。
- APO**(Army Post Office) 米軍の軍事郵便局。
- BC**(Before Christ) 西暦紀元前。
- BELGIAN**(Belgium, Netherlands and Luxemburg)

- BK**(business girl) 女子事務員。
- BOAC**(British Overseas Airways Corporation) イギリス海外航空会社。
- CO-OP**(Co-operative for American Remittances to Europe (and the East) Inc.) ケア物資参照。
- CATI**(Civil Air Transport) 台湾の航空会社。
- CTO**(Central Treaty Organization) 中央防衛条約。
- CI**(Central Intelligence Agency) アメリカ中央情報局。
- CI**(Criminal Investigation Division (Department of Justice)) 刑事の捜査部の捜査課。
- CI**(Civil Information and Education Section) 民間情報教育課。

- CO-ORD**(Co-ordinating Committee for Export Control) 対共産圏輸出統制調整委員会。
- CPAL**(Canadian Pacific Air Lines) カナダ太平洋航空会社。
- CDI**(consumer's price index) 消費者物価指数。
- CD**(consumer's price survey) 消費者価格調査。
- DA**(Development Assistance Group) 開発援助グループ。
- Dept**(Department) 「何々部」の省略したものである。
- EB**映画(Encyclopaedia Britannica Film) 大英百科辞典の映画化された教育映画。
- ECONO**(United Nations Economic and Social Council) 国連経済社会理事会。
- EU**(European Clearing Union) 欧州決済同盟。
- EEU**(European Economic Community)

- Community)** 欧州経済共同体。
- ETA**(European Free Trade Area) 欧州自由貿易連合。
- EU**(European Political Community) 欧州政治共同体。
- EU**(European Payment Union) 欧州支払同盟。
- Esq**(Esquire) 英国では手紙と姓の敬称として姓名のあとにつく。etc(et cetera) 他に語の等々。
- EURO**(European Atomic Energy Community) 欧州原子力共同体。
- FPI**(The First Atomic Power Industry Group) 旧第一原子力産業グループ。
- FEA**(Far East Air Force) 米極東空軍。
- FOA**(Foreign Operations Administration) 海外活動本部。
- FRITAX** フリタックス



大韓民国共和国。

- RPR** (retail price survey) 小売物価統計調査。
- RSP** (Répondez s'il vous plait) 折り返し返事へたのぞく。
- RTO** (Railway Transportation Office) 火車のたのぞく。鉄道運輸や管理の機関。
- SAEI** (Sumitomo Atomic Energy Industries, Ltd.) 住友原子力工業株式会社。
- SAS** (Scandinavian Airlines System) スカンディナビア航空会社。
- SON** 救助されたらむきの無線信号。
- STAC** (Scientific Technical Administration Committee) 科学技術行政協議会。
- TAC** (Thai Airways Company) タイ・エアラインズ・カンパニー (タイ航空会社)。
- TAIC** (Tokyo Atomic Industrial Consortium) 東京原子力産業協会。(旧称)
- TB** (Tuberkulose) 結核。
- TCA** (Technical Cooperation Administration) 協力リカの国際技術協力局。
- TEL** (telephone) 電話。
- TLI** (trinitroluene) 強力爆薬。
- TD** (Andrei Tupolev) 連のシホート機を設計者から出たことだ。一一四型は首相の訪米機。

Transcontinental and Western Airlines) 米国の大陸横断路や欧州空路をもつ航空会社。

- UK** (United Kingdom) イギリス連邦。
- UN** (United Nations) 国際連合。
- UNO** (United Nations Organization) 国際連合。
- UNR** (Union pour Nouvelle République) フランス新共和国。
- UNRA** (United Nations Relief and Rehabilitation Administration) 国連救済復興局。
- UNSC** (United Nations Security Council) 国連安全保障理事会。
- USA** (United States of America) アメリカ合衆国。アメリカ陸軍 (United States Army) もつとも使われ。
- USSR** (Union of Soviet Socialist Republics) ソビエト社会主義共和国連邦。CCCP (rus.・rus.・rus.・rus.) はソ連語の頭文字。
- VD** (venereal disease) 性病。
- VIA** (very important person) 最重要人物。
- Vol** (volume) 書物の巻・冊。

vertical take-off and landing aircraft) 垂直離着陸機。

- WC** (water-closet) 便所。
- 街頭の外国語**
- Capacity Load 3 Tons** 最大積載量三トン。
- Caution** 注意。
- Danger** 危険。
- Clearance 4 m.** 高さ四メートルの制限。
- Closed to All Vehicles** 諸車通行止。
- Go Slow** 徐行。
- Keep Away** 近よるな。
- Load limit 5 t.** 五トン以上重量制限。
- Mind the Signals** 信号に注意。
- No Loitering! By Order of the Commanding Officer** 司令官の命令による無用の者はごらんすべからず。
- No Parking** 駐車を禁ず。
- Off Limits** 立ち入り禁止。
- One Way Street** 一方通行。
- Parking Lot** 駐車地区。
- Pedestrian** 徒歩者。
- Road Under Construction** 道路工事中。
- Sound Horn** 警笛を鳴らさ。
- Speed Limit, 20 MPH (MPH 20 miles per hour)** 速度20マイル毎時(略) 速度

制限「時間」を「時間」。

- Stop! Look! Listen!** 止まれ！ 見よ！ 聞け！
- Stop! Curve Ahead.** 止まれ！ 曲がり角あり。
- Wet Paint** 濡りペンキ。注意。
- 日常の外来語**
- アート (art)** 技術、芸術、文芸。
- アイディア (idea)** 考え、思ひ。
- アイドル (idol)** 偶像、崇拜される人または物。特に恋人。
- アイリス (iris)** 虹。ギリシヤ神話の虹の神の名からきている。「あやめ」「じやんぱ」の類々も。
- アウトライン (outline)** 外郭、梗概、略筋、テニスコートの外側の線。
- アカデミック (academic)** 學術的、學究的、直學的。
- アキレス (Achilles)** キリシヤ伝説の英雄。トロイ戦争で親友パトロロスをついた敵将ヘクトルをたおし、その死骸を戦車に縛って引き回すうち、パリスの射た矢に当たって陣歿した。幼時母がスチックス河にアキレスを浸して不死身としたが、一個所踵の部分が浸らなかつたためそこを射られて、致命傷となつたという。踵の上の筋をアキレス腱というのはこの故事にもとづく。
- アクション (action)** 行為、動作、身ぶり。映画監督が俳優に演技指導をするのを「アクションをつける」といふ。



増 補

アーチ (arch) 建築用語では弧形の門や窓。野球では、打球がアーチ(弧)を描いてレフト・スタンドに飛び込むというようにも使われる。  
 アイス・スティック (ice stick) 長方形の、かたいアイスクリーム。  
 アイゼン (独 Eisen) 登山靴の底につける鉄のかんじき。  
 アウシュウィッツ (Auschwitz) ポーランド南西部の都市で第二次大戦中、ナチスがユダヤ人収容所をつくった。ユダヤ人虐殺で有名。  
 アウタルキー (autarky) 国家の経済的自給自足。autarky の場合は専制政治。  
 アウトバーン (独 Autobahn) ヒトラーのつくった高速自動車道路。  
 アクシデント (accident) 思いがけない事故。奇禍、災難。  
 アクチュアル (actual) 現実の。  
 アタック (attack) 攻撃する。登山家がよく使う。  
 アド・バルーン (ad-balloon) 広告気球。  
 アドミッション・フリー (admission free) 入場無料。  
 アナリスト (analyst) 分析者、分解者。  
 アパルトマン (仏 appartement) 英語のアパートメント。アパート。  
 アビタシオン (仏 habitation) 居住、アパート式分譲別荘。  
 アプリシエート (appreciate)

真価を認める。鑑賞する。  
 アベレージ (average) 平均。  
 アマチュアリズム (amateurism) 主としてスポーツに関連して使われる。プロの反対。しろうと芸。  
 アラーム (alarm) 警報、目ざまし装置。  
 アルス・アマトリア (ars amatoria) 恋愛芸術。恋愛を主題にした文章、絵画、写真、彫刻など。  
 アングリイ・ヤングメン (angry young-men) 怒れる若者たち。同項参照。  
 アンゲル (angle) 角度、観点。  
 アンダー・パー (under par) ゴルフ用語。打数がパー(基準打数)よりも少ないこと。  
 アンダーライン (underline) 強調する。あるいは裏書きする。  
 イット (it) 俗語で、性的魅力。  
 イニシアチーブ (initiative) 創始、率先。「国民発案」の意味。  
 イメージ (仏 image) イメージ、心に描く像。  
 イルミネーション (illumination) 照明。飾り電気。ステージ・イルミネーションは舞台照明。  
 イレギュラー (irregular) ギャラーの反対。正規でなく、不規則の。  
 インサイド (inside) 内側。  
 インターチェンジ (interchange) 入れかえる。交替させる。  
 インテリア (interior) 装飾的

な室内調度品。内部、室内。  
 インドア (indoor) 屋内。インドア・スポーツは屋内スポーツ。  
 インパクト (impact) 衝撃。野球ならバットが球に当たる瞬間の衝撃。強い影響力。  
 インベストメント (investment) 投資。  
 ウィンドー・ディスプレイ (window display) ショーウィンドーの飾りつけ。  
 ウィンドブレーカー (windbreaker) スポーツ用ジャケットの一種。  
 ウララ (露 Hurrah) 『ばんやん』とてう叫び声。がく歌。  
 エア・カー (air-car) 地面のクッション効果を利用して地上をすれすれに飛ぶ乗物。道路を必要としない。「ホバークラフト」参照。  
 APO (Asian Productivity Organization) 「アジア生産性機構」の項参照。  
 エキストラ・イニング (extra-inning) 野球の延長回数、補回。  
 エコノミー・クラス (economy class) 旅客機などのいわゆる二等席。エコノミーは経済的、お得用な。  
 エコノメトリクス (economics) 計量経済学。  
 エステート・ワゴン (estate wagon) ステーション・ワゴン型の純乗用車。  
 エssenシャル (essential) 本

質的。  
 エネルギッシュ (独 energisch) 精力的な。  
 エリゼー宮 (仏 Elysée) フランス大統領官邸。  
 オーシャン (ocean) 大洋。  
 オートショー (auto show) 自動車の展示会。  
 オーバーホール (overhaul) 検査する。分解検査する。  
 オープン・ディスプレイ (open display) 公開展示。  
 オーラミン (auramine) 黄色の塩基性着色剤。有毒で、タクアンや菓子などの着色用には禁じられている。  
 オール・オア・ナッシング (all or nothing) すていか無か。いなか、ばちか。  
 オピニオン・リーダー (opinion leader) 世論指導者。有力なジャーナリストや評論家のこと。  
 オブラート (独 Oblate) 丸薬などを包むのに使ふ。口のなかでとける。  
 オンワード (onward) 前進。  
 カオス (chaos) 混沌、大混乱。  
 カスタム・カー (custom car) 本来は、一部手作りの特別仕立ての乗用車。わが国では現在『特製の』というような意味で使われている。  
 カップル (couple) ニュー組になつてゐるもの。夫婦。  
 カラー・ストックキング (color-stocking) 色のついた長靴下。最近、若い人たちの間で流行。



# 増補

一九六二年版



ここには昭和三十五年八月から三十六年七月までのほぼ一年間に登場した新語を収載したが、新語に関連する基本語も補充した。それ以後の最新語について、この後に「追補」としてまとめてある。項目、用語の配列は時代の動きが把握できるようにした。増補語の索引は総合索引に含まれている。

## 時事用語

### 国際政治

**トロイカ方式** (the "Troika") トロイカとは、ロシア語で三頭立ての馬車の意味。国連の事務総長にせよ、核実験停止の管理機構にせよ、また、軍縮管理にせよ、一九六〇年九月二十三日のフルシチョフ首相の国連改組提案以来、ソ連は、東と西、それに中立の三グループから構成されそれぞれが拒否権をもつ三人管理官制を唱えてきたが、ともに「三」によって構成されるということから、この名がつけられた。

**国連改組案** (ソ連の) 第十五回国連総会に出席したフルシチョフ・ソ連首相が、一九六〇年九月二十三日に提唱した改組案。①現在一名制の国連事務総長を、西側、共産側、中立側の

それぞれを代表する三名からなる合議体とせよ、②国連本部をアメリカからスイスかオーストリアに移せとするもの。現実性はないが、改組案をだした政治的動機、ソ連の国連に対する考え方を知るに当たって注目すべき構想とされた。

**八十二カ国国連軍縮委員会** 東西十カ国軍縮委員会(別項参照)が、一九六〇年六月二十七日ソ連の退場で決裂、軍縮討議が中断されたため、新しい討議の場として米國提案により国連の中に設けられたもの。委員会の構成は発足当時(六〇年八月十六日)の国連全加盟国八十二カ国。当初ソ連側は国連総会で軍縮問題を討議することを主張したが、結局参加した。委員会は同年八月十八日、①東西軍縮交渉の再開を歓迎し、国連



総会が軍縮問題に真剣な考慮を払うよう勧告する、②効果的な国際管理をとらぬ全面かつ完全軍縮を建設的に解決するため、できるだけ早く国際交渉を再開するよう勧告する、③この軍縮委員会を今後も存続させ、必要に応じていつでも開会させるよう勧告する、という意味の決議を満場一致採択して一応幕を閉じた。形の上ではこの委員会はその後も存続し、いつでも開かれる態勢になっているが、その後国連の加盟国がふえていくので、今後開かれるとすれば一〇四カ国国連軍縮委員会と呼ばれることになる。

**植民地独立宣言** 一九六〇年十二月十四日、第十五回国連総会で採択された、A・A・ブロック四十三国が共同提案した植民地独立に関する宣言。前文と

七項目からなる。「植民地独立」問題は、総会に出席したフルシチョフ・ソ連首相が火をつけたもので、この総会の重要問題の一つ。ソ連は、①植民地廃止を軍事基地撤廃と結びつけ、②すべての植民地の「即時」独立を盛りこむことを要求したが、採択された決議は、植民地主義の「すみやかな終結」を呼びかける一方で、独立を目ざしてすべきの権力を移譲するための手段を「即時」にとるという段階的な表現を使った穏かなもの。この宣言が賛成八九、棄権九という事実上の全会一致で採択されたことは、A・Aグループの成長を示したと同時に、アフリカ総会といわれた第十五回総会の性格を象徴するものといえる。

**ウイーン会談** アメリカ大統領ケネディ(Kennedy)とソ連首相フルシチョフ(Khrushchev)との間で、一九六一年六月三、四の両日、オーストリアの首都ウイーンで行なわれた会



収穫がふえ、また成育も早く、連作もできる。わが国で工業化された。

**カフジ原油** (Khafji Crude Oil) アラビア石油(別項参照)の原油の商品名。同社の現地鉱業所(陸上基地)がペルシヤ湾沿岸カフジ岬にあるところからつけられた。カフジ原油のわが国における販売については、外資系石油会社の風当たりが強く、数量や値段をめぐり通産省、外国系会社、民族系会社間で意見が一致しない。

## 医学・薬学

**パノラマ視現象** わずかの時間に長い間のことを見てしまう現象。たとえば、足を踏みはずしてがけから落ちるようなとき、または死ぬ直前のような時にこうした現象が起こる。水におぼれるときにも現れるが、身体が非常に強いショックをうけて、意識に障害が起こり、混乱したときにこの現象が起こると考えられている。無重量状態でも起こるのではないかというのが日本の学者の意見である。

**体外受精** 人工受精を一步進めて、人間の卵細胞を体外に出して受精させ、培養する、すな

わち体外受精の実験が、イタリアで一九六〇年末試みられた。研究の指導者はダニエレ・ペトウルツチ教授。この受精卵は二十九日間試験管の中で正常に発育し、その間の変化は白黒とカラーの両方のフィルムにおさめられた。しかし、これをもっと進めて、最後の段階まで完成することは母体内の生理的、物質状態の詳細がわかっていない現状では困難である。

**病原性好塩菌** 細菌で五〇〇種あるいはそれ以上の食塩の濃度のところが育つのに適している場合好塩菌というが、こうした菌の場合は塩漬けにしてもかえって繁殖するから、病原菌である場合は、困ったことになる。日本近海でこの数年間毎年のようにアジの中毒が起こっていたが、これが病原性好塩菌によるものであることがわかった。

**生ワクチン** 生きたままのビールスで弱毒化したものは、死んだワクチン(不活化ワクチン)より少量で効果が確実な場合が多い。小児マヒ(ポリオ)のワクチンも不活化されたソーク・ワクチンより、弱毒化した生ワクチンの方が、あらゆる点

でまさっており、生ワクチンへの移行は世界的な傾向である。ポリオの生ワクチンは、セイビオン、コプロフスキー、コックスの三人の学者がそれぞれがった方法で作っているが、セイビン・ワクチンが最も広く用いられ、ソビエトではすでに一億人にセイビン・ワクチンを服用させている。日本も一九六一年夏の全国的な流行で、ソビエトから一、〇〇〇万人分のセイビン・ワクチンを輸入した。

**ガランタミン** (galanthamine) ヒガンバナ科の植物ガランサス・ウオロノウイの球根に含まれているアルカロイドを抽出して製剤する一種の神経刺激剤。ソビエトで小児マヒの治療剤として研究され、四歳六ヵ月、筋随意運動のとまった急性小児マヒ患者に治療をほどこして、開始後十五〜二十日目で座り、やがてひとり歩きできた例が示されている。一九六〇年北海道の流行以後、小児マヒの治療薬として、この薬の要求が急に高まり、六一年三月末、輸入が正式に許可された。

**SIC** 特殊な細菌の培養でつくる薬で牛山博士の発明。胃薬として許可されているが牛

山博士はガンの治療に用いて有効であると主張。その学説、実験については学界の批判があり、昭和三十五年、日本ガン学会での発表中止問題が起こり、話題となった。

**コーチゾン** 「コルチゾン」参照。

**ビタミンM** (Vitamin M) ブラロイル・グルタミン酸、あるいは葉酸ともいい造血の効果がある。ビタミン剤には必ず入っているといっている。一九四一年ホーレン草から分離精製され、一般に緑葉野菜中に分布することがわかったので葉酸と名付けられた。非常に安い生産法が日本で発明されている。

## 宇宙

**人間宇宙船・ボストーク** (Vostok) 一九六一年四月十二日、ソ連が打ち上げた人間の乗った世界最初の衛星船で、ボストークは「東方」の意。重量は四七二五キログラム、軌道は近地点一八一キ、遠地点三二七キ、周期八九・一分、赤道面に対し六四度五七分。宇宙飛行士ユーリ・ガガーリン空軍少佐は、アラル海東方の宇宙基地をモスクワ時間九時七分に発進、地球を一周



# 追補

六二年増補版



ここには昭和三十六年八月から最近までに登場した新語を収載したが、これらの新語に関連する基本語も相当補充した。このページの前にある「増補語」とは別に、とくに激しい最近の内外情勢の動き

を適確につかめるように独立させ編集した。その意味では新しい時事語を知りたい受験生諸氏には便利なページと思う。これら追補語の索引はひとまとめにして総合索引に含まれている。

## 時事用語・追補



### 国際政治

**ベルリン空中回廊** ベルリンと西ドイツとの間の交通のために設定された三航空路。ベルリン・ハンブルグ線、ベルリン・ブツケブルグ線およびベルリン・フランクフルト・アム・マイン線で、およそ二〇マイル範圍の航空路。終戦時ソ連の単独占領に帰っていたベルリンに、米英仏三国軍が進駐するに当たり、米英ソ三国首脳が書簡の往復により交通連絡が認められ、進駐後は、ソ連軍司令官から三国軍司令官に対して、口頭で、在ベルリン三国軍と西ドイツ地域との交通連絡の保証がなされた。三航空路は、その後、一九四五年十一月三十日に、同盟国のドイツ管理理事会が設定したものであり、その航空につ

いては、事前の通告を必要としない旨の決定が全会一致で採択された。この空中回廊設定について、ソ連軍当局は、もっぱら軍隊の必要に限定するよう主張したが、西側三国はこれに同意しなかった。そこで、西側は、安全に必要な規制以外にはなんらの制限に服さないと主張し、ソ連は、この回廊は、軍事航空管理部の報告に基づく決定であって、もっぱら西ベルリン三国駐留軍に対する補給の必要を充たすため、一時的に設定したもので、西ドイツ占領各国軍司令部との連絡、軍要員および貨物の輸送を確保するためのものという立場を固執、決定につき解釈が対立している。この回廊は、四八年三月と七月のベルリン封鎖のさいの唯一の補給路であったし、五八年十一月および六一

年六月のフルシチョフ首相のベルリン自由市化声明によって注目のまとなっている。ベルリンの共同管理を取りきめた協定が、交通権について特別の規定を設けなかったことに、この紛議のもとがあるといえよう。

#### ベルリン通行権

ベルリンは占領のはじめには米英ソ仏四連合国により統一的に管理されたので、東西ベルリンの通行につき、特に明文で規定されうべくもなかった。一九四九年九月に西ドイツが、十月に東ドイツが成立した後も、両者がベルリンを自己の憲法の範圍内にあるとして以上、通行は相互の「権利」としての問題ではなかった。六一一年六月のフルシチョフ書簡のケネディ米大統領への手交以来、ベルリン問題が国際的に危機の様相を濃くするに及

んで、同年八月十三日、ワルシヤワ条約加盟国政府は声明書を発表、西ベルリンは東ドイツならびに東欧社会主義諸国に対する破壊活動の中心地になっている現状にてらし、スパイ活動防止のため東西ベルリン間の交通を制限するとし、その具体的措置を東ドイツ政府にとらせ、ここに交通制限が行なわれることになった。

#### ポツダム議定書

一九四五年八月二日に米英ソ三カ国（後に仏が加入）が対ドイツ平和条約締結準備のため四カ国外相会議の設置、ドイツの占領・賠償などに関する原則を決定した議定書。ポツダム協定ともいわれ、日本の降伏条件などを定めたポツダム宣言とまざらわしい。東西諸国のドイツ処理の基本的見解の相異のもととなつて協定で、五八年十一月のフルシチョフ・ソ連首相のベルリンに関する爆弾宣言の根拠としても引用され注目された。この議定書



地球三周、四時間五六分の飛行に成功した。アメリカでは最初の人間衛星で、この成功によって月に三人の人間を送ることを目的とした一九六〇年代の宇宙開発計画全体が、急に明るい見通しを持てるようになった。

### 「ジエミニ」計画 (Gemini)

「ジエミニ」は双子の意味、二人乗りの人間衛星計画につけられた名前である。アメリカは、地球三周のマーキュリー計画以後、マーキュリー改良型による地球十八周を早ければ一九六二年暮に実現する計画である。その次に予定しているのがジエミニ計画。二人乗りで、地球を三〜七日間まわる。早ければ六三年末に実施する。発射ロケットは、タイタン二型を改造したもの。ジエミニ計画では、別の人工衛星と、宇宙空間で連結するいわゆるランデブーの実験をする計画もある。

### スーパー・サターン (Super Saturn サターンC5型)

三人の人間を月に着陸させるアポロC計画に使用するロケット。推力六八〇トンのF1エンジン五基を束ねて第一段としたもので、サターンC5型と呼ぶ。月に人間を着陸させるのには、

このサターンC5型二個を宇宙空間で結合(ランデブー)する方式をとる。なおサターンC5の前のサターンC3型で、三人乗りのアポロの月周回飛行に使用。サターンC1型はH1エンジン八基を束ねたものを使い、一九六一年十月二十七日に最初の発射実験に成功した。

### 月ロケット

月をめざすロケットの総称。アメリカが一九五八年に打ち上げたパイオニア一、三号が最初。五九年にソビエトが三個打ち上げた宇宙ロケットも、西側では、月ロケット(ルーニク・別項参照)と呼んでいる。本格的な月ロケットはアメリカのレインジャーで、三号以降が月への硬着陸をねらっている。三号は六二年一月二十六日に発射されて、月から三〜四万キロのところを通過、失敗に終わった。レインジャーの次は

月に軟着陸をするサーベイヤーで、月面上を移動するプロスペクターが計画されている。

### 秘密衛星

一九六一年秋以降、アメリカでは、太平洋岸のバンデンバーグ空軍基地から、秘密装置をのせた人工衛星を打ち上げている。スパイ用のサモス衛星と同型のものと思われるが、空軍当局は衛星の内容については発表していない。

### 針衛星

一九六一年十月二十一日、アメリカは太平洋岸のミサイル基地ポイントアーグロからICBM探知衛星ミダス四号を打ち上げたが(重量は約一・六ト)、軌道にのって後、約三万五千の容器から、約三億五千万本の銅製の針をまいた。針衛星の名はそこからでたわけで、これによって電波を反射する帯を作ろうとした。針が計画通りに拡がらず、実験は失敗に終わった。

## 日常用語・追補

### 社会風俗

〔昭和三十六年つづき〕

六本木族 東京麻布の六本木を中心とする赤坂、溜池周辺

った。

### 熱的界雷

熱雷と呼ばれる夏の雷は日射による上昇気流が上空の冷たい空気にあってできるもので、この上昇気流の下に寒冷前線がはいり込むと、その先端にかなりの雷雲を生ずる。これが界雷で、二つの要素が加わってできる現象が、熱的界雷、夕立の親分みたいなもの。

### メソ気象学 (Mesometeorology)

雷雨や集中豪雨、竜巻など比較的せまい範囲に起こる気象現象を扱う学問。これらの現象は、通常の気象観測網の観測に基づく天気図には現われないうのが普通で、その予報は困難であった。しかし、気象用レーダーの観測網の整備によって、これら局地的現象を捕えることが可能となり、適確な予報を出すことができるようになってきている。



は、銀座とはまたちがったバタ臭いナイトクラブや高級バーが並び、東京租界を思わせる新しい歓楽地となった。これは最初占領軍目当てに生まれ、ついで誕生した民間放送・テレビのタレントや関係者に引き継がれて繁昌しているもので、料理店、喫茶店も軒を並べた。それら深夜営業の店で、タレントに会え